

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	24	学 校 名	磯城野高等学校
-----	----	-------	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	地域農産物の活用プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	フードデザイン科1～3年生(115名)科目「調理実習」「製菓実習」における実習授業として行う。地域農産物を活用したレシピを検討し、安心安全な食品製造・販売・広報について必要な力を身に付けさせる。
連携・協働相手	多集落営農組合・田原本町・ならコープ
地域と共有している目標・課題等	地域農産物(米粉、小麦粉)の普及を目指す。
取組・活動の内容(生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など)	
田原本町文化祭で、地域の小麦粉と校内の農畜産物を使って「磯城野バーガー」を調理、販売をした。多集落営農組合主催のクリスマスケーキ講習会で生徒たちが地域の米粉を使用したレシピを提供し、講師も務めた。青垣生涯学習センター開館20周年×磯城野高等学校創立20周年事業として、地域の小麦粉を使用した「SHIKINOあんパン」の販売を行った。4月よりならコープさんと商品開発に取り組み、地域の米粉を使用した焼き菓子を販売することができた。多集落営農組合の方々に来校をしていただき、1年生(40名)科目「食品」で米と小麦について講義をしていただき、理解を深めることができた。これらの事業を通し、地域及び学校の魅力発信、地域農産物の普及並びに地域の活性化を図ることができた。	

2. 事業の成果と課題

年度当初に計画していたホリデーイン磯城野(学校主催)の実施計画がなくなったが、連携先等のご協力で多くの取組をすることができた。地域や学校の農畜産物を使用した調理品の販売、講習会、商品開発は、学校の魅力発信、地域農産物の普及並びに地域の活性化に繋がった。特に、販売や講習会では、地域の方々と交流を図ることができた。地域との連携・協働を通じ、相互の理解を深めながら地域の課題に取り組むことで生徒たちは、新たな知見を得、発見をすることができた。今後も地域と連携・協働し、さらに地域や学校に興味・関心が高まるような取組を行っていききたい。

【生徒の感想】

地域・学校農畜産物について知ることができた。また、地域の方々と交流をすることができ、貴重な体験となった。今後もこのような活動に積極的に参加していききたい。

